
ネオンストリート

春野 宵

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ネオンストリート

【Nコード】

N8115D

【作者名】

春野 宵

【あらすじ】

彼女は鬱病だった。僕も鬱病になった。一緒に治そうと約束した。けど僕は治った気になって彼女が治るのを待っているだけだった。そう、僕は何も進んでいなかった。気付いた時には彼女は先へ行ってしまっていた。僕は目指すべき光を探す。

(前書き)

もしもこの詩を読むのならば、これだけは言っておきたい。
何が言いたいのか、どういう状況なのか、設定等もろもろにおいて
まったく意味が分からないはずだ。

なぜならこれは、私自身が目指すべき光へ進むための布石であり、
忘れてはいけない事を忘れないために書いたものであるからだ。
だからこの詩を読みたいとあなたが思ったのであれば念頭において
貰いたい事がある。

彼女は鬱であり、僕は彼女の看病をしている中で鬱になった。
お互いに鬱を治そうと誓い、その光へ向かって歩いていった。
ただお互いが見ていた光が違っていった。

そして、どうか妄想を膨らまして情景を浮かべていただきたい。
彼女だけを見ていた僕と、その先を見ていた彼女を。

僕が言いたいことはこれくらいだ。

空を見ていた。

たくさんの人が通り過ぎていく道の途中で。

君は空を見ているか。

目指すべき光をその目に捉えているか。

同じ道を歩いてきた。

同じ光を目指して歩いてきた。

僕が先に着いた。

光の下に。

空を見ていた。

光を探して。

ここにあるはずだった。

一緒に目指してきた光はここにあるはずだった。

僕は立ち止まり振りかえる。

君はまだこない。

一緒に歩いてきたはずだった。

君と一緒に。

同じ光を目指して歩いてきたはずだった。

空を見ていた。

たくさんの人が通り過ぎていく道の途中で。

君は空を見ているか。

目指すべき光をその目に捉えているか。

僕は気付く。

ああ、そうか。

僕が目指してきた光は君自身だったんだね。

僕はこの道で立ち止まっていただけだったんだ。

君のいた場所に立ち止まっていただけだったんだ。

君は目指すべき光へ向かって歩いていったんだね。

空を見ていた。

たくさんの人が通り過ぎていく道の途中で。

君は空を見ているか。

目指すべき光をその目に捉えているか。

僕は歩き出す。

光へ向かって。

この道を。

また会えるだろうか。

君に会えるだろうか。

どれほどの速さで歩けばまた君にあえるのだろうか。

空を見ていた。

たくさんの人が通り過ぎていく道の途中で。

君は空を見ているか。

目指すべき光をその目に捉えているか。

僕はもう見失わない。

目指すべき光を。

僕は歩き出す。

光へ向かって。

君にまた会えることを信じて歩き出す。

(後書き)

彼女には付き合う前に戻ろうといわれた。

彼女は私に最後に、付き合う前に戻ろうって言うことはどういこうとかわかってよね。その先があるって事だよ。と言った。
僕はもう一度彼女に会うために光へ向かって歩いていく。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8115d/>

ネオンストリート

2010年10月12日07時26分発行